

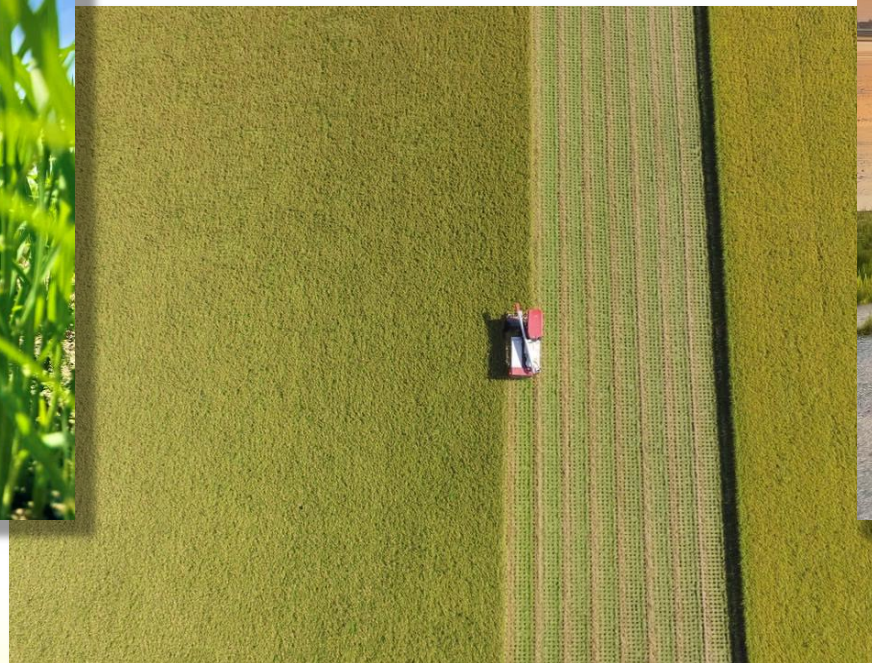
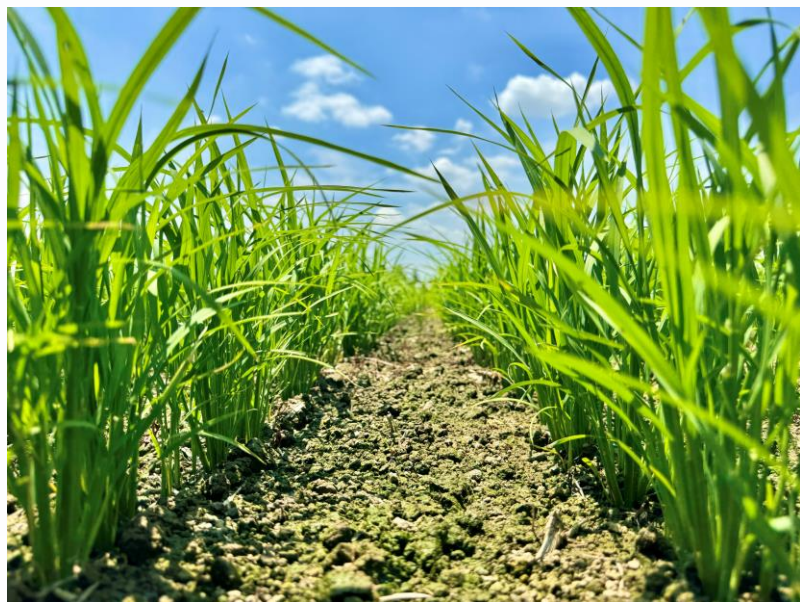
【田植え不要米づくりコンソーシアム】



RITA
Japan

日本の未来農業・節水型乾田直播

@農林水産省7F講堂



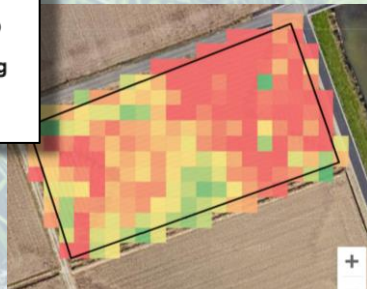
2025/09/25

■YAMAZAKI・RICE■

株式会社ヤマザキライス
代表取締役 山崎 能央

NO RICE, NO LIFE! ヤマザキライス

埼玉県北葛飾郡杉戸町才羽185
株式会社 ヤマザキライス
株式会社 RiTAジャパン
代表取締役 山崎 能央(51歳)



田区	田名	品種	播種日	収穫日	実収量(kg/10a)	実収率(%)	実収高(m)	実収幅(m)	実収深(m)	実収速(kg/10a)	実収高(m)	実収幅(m)	実収深(m)	実収速(kg/10a)
1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8
9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9
10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

- ▶ 水稲110ヘクタール
- ▶ 生産量玄米600トン
- ▶ 生産コスト6.4万円/10a
- ▶ 玄米生産コスト120円/kg
- ▶ データ化・見える化
- ▶ 全面積xarvio AIにおまかせ
- ▶ 補助金は基本なし
- ▶ 田んぼ毎に偏差値評価
- ▶ 8月1日から稲刈り
- ▶ スーパー・ドラッグストア1,000店舗
- ▶ 大手外食チェーン、他



- ▶ 完全週休2日制
- ▶ 8時~17時（基本残業なし）
- ▶ 社会保障・各種手当
- ▶ 一般中小企業とする考え方
- ▶ 賞与3回支給（2025年）



115坪の極小倉庫

自動操舵トラクター（113馬力）2台
ザルビオ対応変施肥田植機（8条）1台
収量ロボットコンバイン（7条）1台

計4台でのシンプル経営
（GPS+RTK）

▶ 節水型乾田直播

生産コスト75円/玄米1kg

機械設備コスト60%削減

投下労働時間70%削減

メタン発生量87%削減（低GHG換算で67%削減）



▶需要に応じたコメの増産↗

一方で農家経営体半減↘→担い手への農地集約↗

生産面積が拡大していくなか↗

田植え×増える生産面積を新しい技術でカバー

節水型乾田直播（節水栽培）

失敗をしないために適地適作と正しい情報の選択



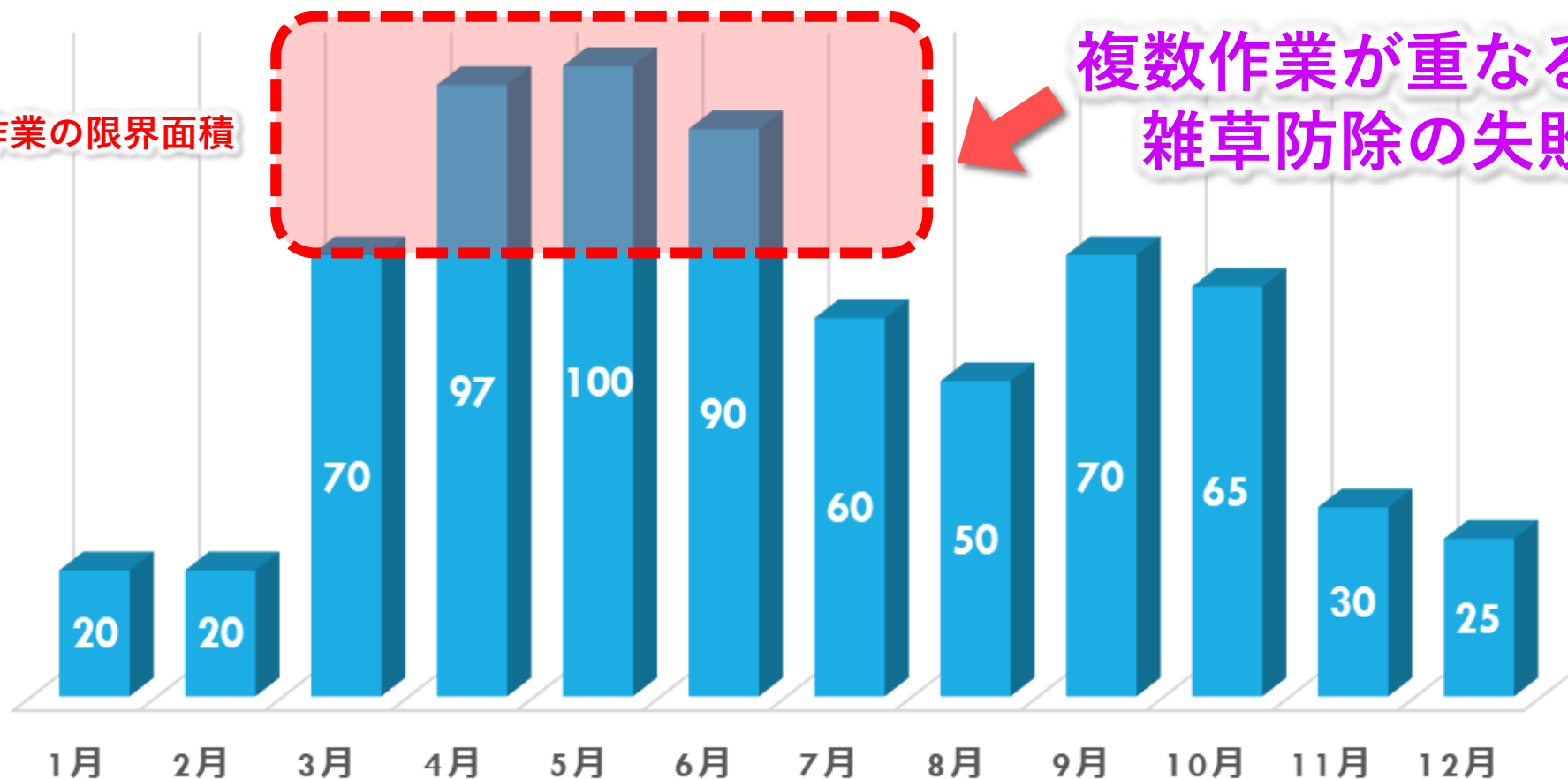


当たり前だったことが
コスト高の要因

このままでは事業承継できない

月別仕事量（5月を100）

田植え作業の限界面積



複数作業が重なるため
雑草防除の失敗が起きやすい



思い切った耕作面積の拡大

節水型乾田直播

- ・ 超低コスト
- ・ 収量が少し下がる
- ・ 除草剤体系の違い
- ・ 長期湛水はしない
- ・ 畑作寄り



ロータリー等



- ・ スリップローラーシーダー
- ・ ロータリーシーダー
- ・ ドリルシーダー
- ・ ドローン

ドローン播種確立に期待

播種量5.5kg～6.0kg

従来の湛水型乾田直播



- ・ 工程が多い
- ・ 収量多い
- ・ 湛水型(水稻寄り)
- ・ 水稻一発剤
(除草剤)



再現性

2024年5月28日



2025年5月24日



再現性

2024年6月11日



2025年6月13日



再現性

2024年6月18日



2025年6月13日



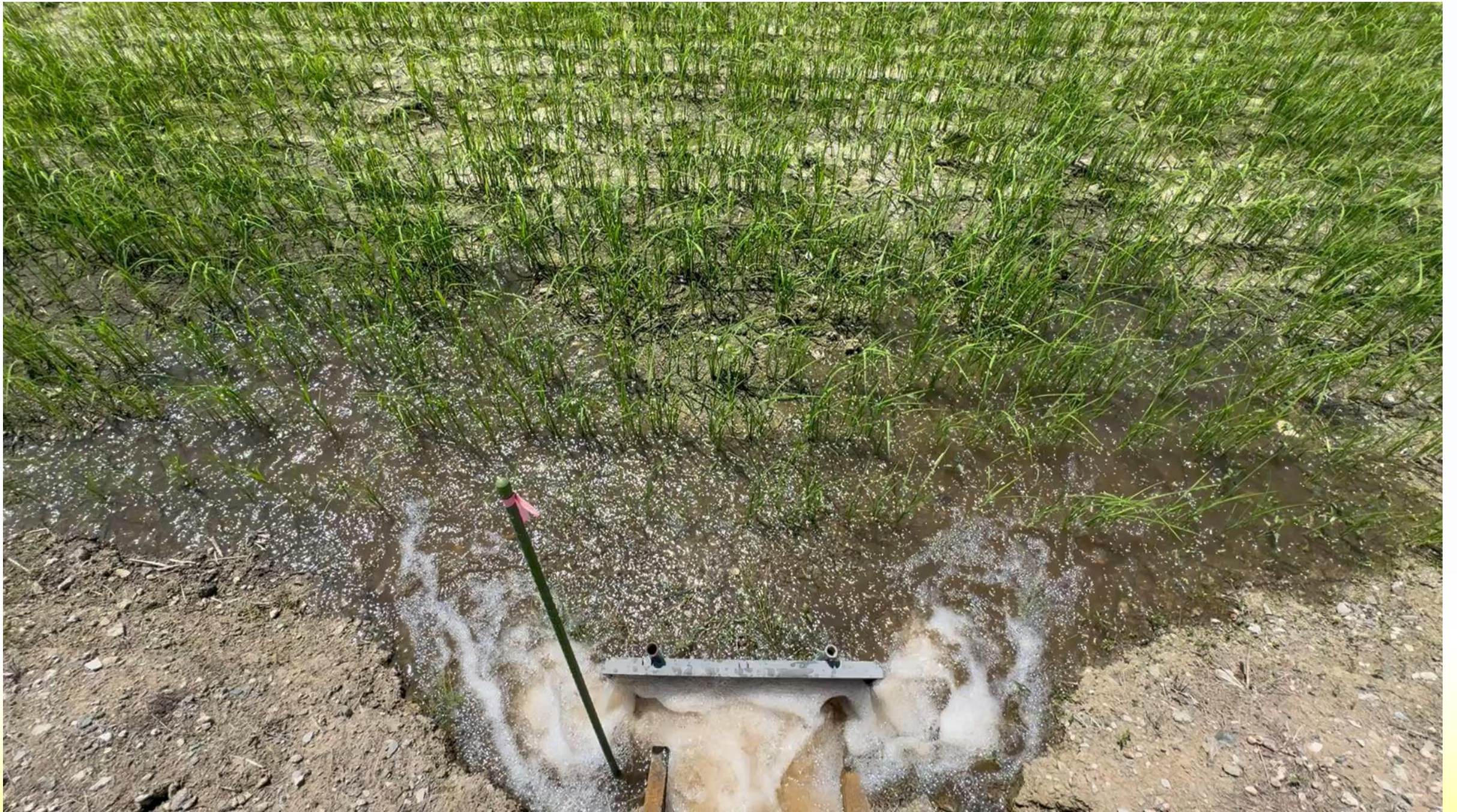
再現性

2024年8月11日



2025年8月13日





重要ポイント！

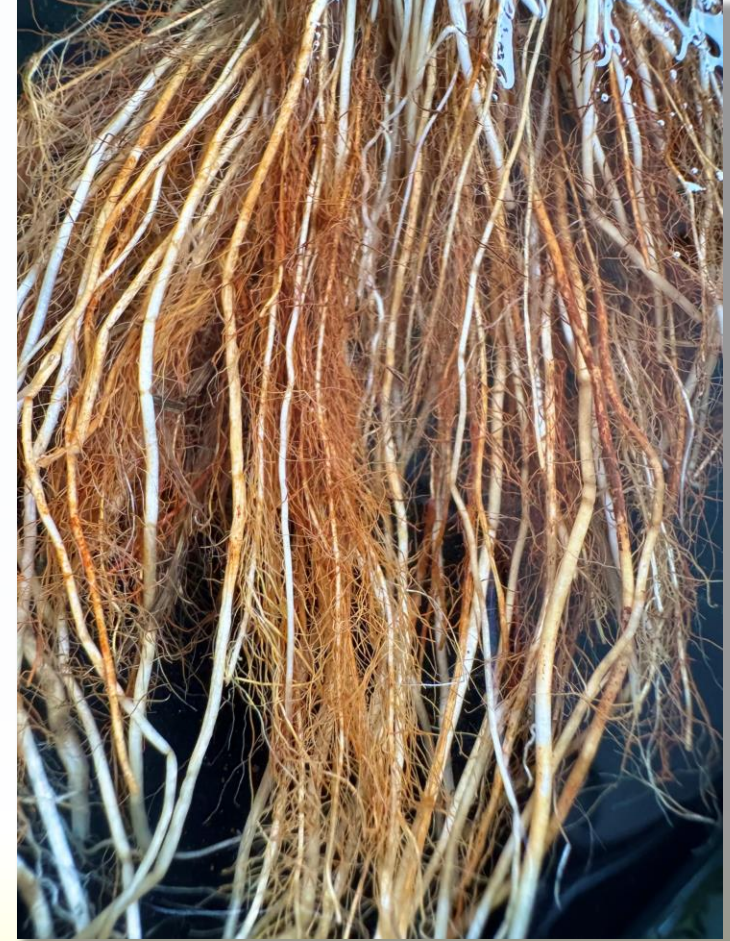
左：節水型乾田直播
右：慣行水稻栽培



畑根：節水型乾田直播
干ばつ耐性あり



水根：慣行水稻栽培
干ばつ耐性なし



重要ポイント！（同品種）



播種後64日（7月4日）

畑根：節水型乾田直播
干ばつ耐性あり

水根：慣行水稻栽培
干ばつ耐性なし







--- 除草剤2回と3回の違い
または、水が回らないところ

汎用コンバインなら雑草まみれも大丈夫
(ヤンマー実演機)



2025/09/18 (4/30播種)

稲刈り当日 (節水栽培にじのきらめき)



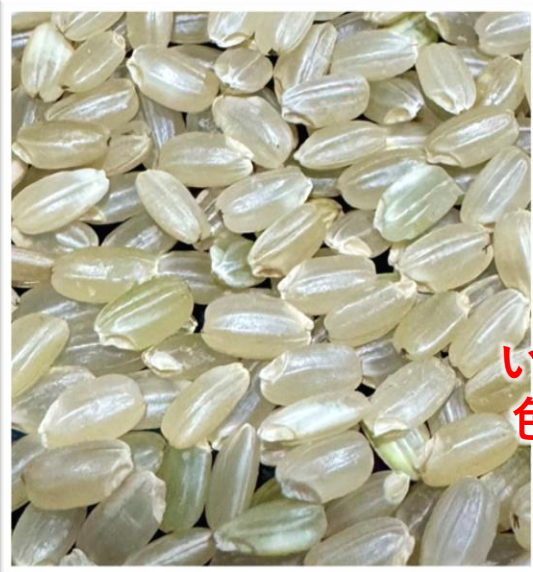
節水型にじのきらめき 走水5回

収量**9.2俵** (552kg)

(1等・2等、高温障害あり)



2024年



いずれも
色彩選別機なし



節水型にじのきらめき 走水9回

暫定収量**8.7俵** (522kg)

(2等、高温障害あり)



2025年

節水栽培は大きく3タイプに分かれます。

節水栽培

①節水型乾田直播（一般的）

水利のある圃場に乾田直播（必要な時に入水が可能）

②ハイブリッド型節水型乾田直播

（初めの60日間ほどは陸稻的栽培→その後節水栽培）

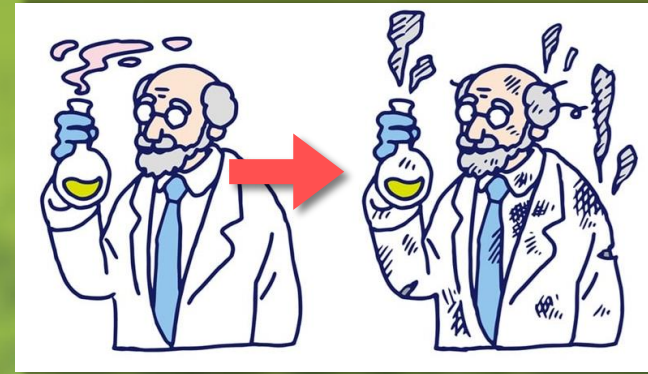
（安全性が担保できるのであれば、前半陸稻剤の使用の可能性）

新型陸稻

③畑地での陸稻技術による水稻品種栽培（将来的な技術）

（非常に限られた除草剤のみ使用可・農薬の課題あり）

挑戦ではなく再現性の重要性と社会実装



- ① 種子選抜と発芽率確認
- ② 圃場選定
- ③ 播種方法、播種タイミング、播種深度
- ④ 使用するバイオスティミュラントと適正な使い方
- ⑤ BS剤は口頭や噂ではなく、エビデンス有無による使用
- ⑥ 雑草のコントロール
- ⑦ 肥料のコントロール
- ⑧ 乾いたら入水（土中湿度の数値化と目安化）

課題点

①雑草の発生

既にAIとアルゴリズムで解明
しているメーカー有り

②連作障害の懸念

3年間節水→田植え1年でリセット

③要土壌分析

畑地化で土壌からの
ミネラルの収奪

④登録農薬と除草剤

消費者への安全を第一に

誰でもできる節水栽培に！

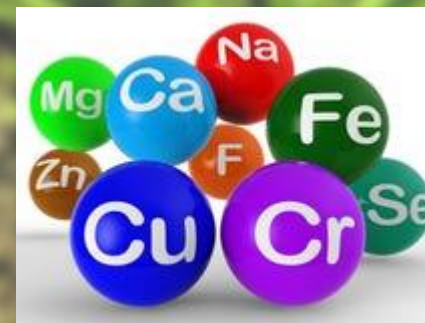
- ・農水省
- ・技術会議
- ・農研機構

- ・デジタルとAIの活用で解決
- ・種子のイノベーション
- ・農薬適応拡大
- ・バイオスティミュラントで補完
- ・畑地雑草が増えたら代掻き田植え
- ・技術習得とノウハウ
- ・土壌分析と処方もAIで
- ・土壌バランスの重要性

コンソーシアム

賛同者

- ・メーカー
- ・行政
- ・生産者
- ・技術者



節水栽培の大きな2つの価値



水の管理**70日間**が**8日間**

機械設備コスト**60%減**

投下労働時間**70%減**



温室効果ガス

メタンガス87%減
(低GHG65%削減)



カーボンフット
プリント
Scope3
カテゴリー1



稲作レポートはこちらからFacebook

